



平成 21 年 3 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社イーエムシステムズ
代 表 者 名 代表取締役社長 國光 浩三
(コード番号 4820 東証 第二部)
問 合 せ 先 執行役員管理本部長 青田 玄
(TEL 06-6397-1888)

本社ビル建設資金の長期借入による資金調達について

当社が平成 20 年 3 月 6 日付「本社ビル竣工に関するお知らせ」において公表いたしました本社ビルである新大阪ブリックビル建設資金につきまして、短期借入からシンジケートローンによる長期借入への借替え手続きを完了いたしましたことをお知らせいたします。

記

1. 概要

新大阪ブリックビルの建物建設資金につきましては、当初みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行と締結いたしましたコミットメントライン契約による資金調達を行い、その後短期借入による融資に変更しておりました。この借入金は、ビル資産の売却、証券化等の資産活用で得られる資金による返済を計画しておりましたが、サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融危機の影響により、金融市場・不動産マーケットが著しく冷え込んだため、ビル資産の有効活用につきましては、その手段および時期について、これまで以上に慎重に検討することといたしました。

そして、長期に渡る安定した借入金返済による資金計画の堅実化を図るため、平成 21 年 3 月において返済が必要なこれまでの短期借入金からの借替えとして、みずほ銀行（アレンジャー）、三菱東京UFJ銀行（コ・アレンジャー）、三井住友銀行と新たにシンジケートローン契約を締結いたしました。

シンジケートローン組成にあたっては、借入対象物件である新大阪ブリックビルの土地建物を担保として抵当権を設定しましたが、金利につきましては、当社に有利な利率で契約を締結しており、家賃収入で返済が可能となっております。

なお、土地の購入資金につきましては、自己資金により既に支払済みであり、今回調達いたしました金額には含まれておりません。

新大阪ブリックビルの入居率につきましては、現在約 80%まで上昇してきており、残りのスペースにつきましても、昨今の厳しい不動産マーケットの中で、新規テナント入居の引き合いが継続的に出てきております。また、クリニックモールにつきましては、現在 3 クリニックが入居しており、空室部分におきましては新たな候補先が出てきております。

この極めて優良なビル資産の売却、証券化等を視野に入れた有効活用の手法につきましては、現在も継続的に検討し続けており、適時、適切な判断を行ってまいります。

2. 借入金額

7,216 百万円

以 上